

# 青壮年教職員夏季合同研修会

- 1 主 催 愛媛県教育研究協議会
- 2 期 日 平成30年8月1日（水）～8月2日（木）
- 3 会 場 エスポワール愛媛文教会館
- 4 参加者 161名（壮年部99名 青年部60名）
- 5 目 的 会員相互の連帯意識の高揚及び組織活動の活性化を図るとともに、教職員としての資質・能力の向上に努める。
- 6 研究主題 「組織の活性化と教職員としての資質・能力の向上を求めて」
- 7 日 程

## 【1日目】

☆壮年部研修 講演（壮年部 59名）

演 題 「教員組織について考える ―教師が育ち、子どもが伸びる組織を作ろう―」  
講 師 伊方町立瀬戸中学校長

☆ 青壮年教職員夏季合同研修会

全体会 101名（壮年部 59名、青年部 42名）

問題提起 （壮年部 新居浜支部、青年部 松山支部）

グループ討議（13グループ）

全体会

指導助言 組織局長

【2日目】 講演 123名（壮年部 75名、青年部 48名）

演 題 「心を育てる目標設定 ～練習日誌の指導を通して～」

講 師 愛アスリートクラブ代表（みなら特別支援学校）

## 8 活動の様子（アンケートの記述等から）

他の支部の先生方と交流したり、青壮年部合同で行ったりする活動であったため、他の支部の活動や様々な考えを知ることができて参考になった。グループ討議で出た他支部の取組や改善策を、自分の支部の活動に生かしたい。

2日目講演では、「夢や目標は育てていくものである。」「目標がより具体的になれば、結果が変わっていく。」「心を育てることが、スポーツとしての成果を上げるのに重要である。」など、自分の今後の指導の参考になる話が多かった。また、障がい者のスポーツという視点から、共生社会の在り方について考えさせられた。



開会式



グループ討議



2日目講演